

2019 年度

事業報告書

2019 年 4 月 01 日から

2020 年 3 月 31 日まで



公益財団法人 日本科学技術振興財団

目 次

【事業活動】

1. 2019年度の事業概況	1
2. グラフで見る2019年度の事業	3
3. 事業の状況	4
I. [公益目的事業1] 科学技術館の運営事業	4
II. [公益目的事業2] 他館の運営管理事業	7
III. [公益目的事業3] 他館に対する活動支援事業	10
IV. [公益目的事業4] 科学技術系人材の育成事業	11
V. [公益目的事業5] 科学技術の普及啓発事業	13
VI. [公益目的事業6] 科学技術振興に関する調査研究事業、	
VII. [公益目的事業7] 科学技術の研究開発とその促進事業	14
VIII. [収益事業1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業	14
IX. [収益事業2] 科学技術館施設の利用促進事業	16

【総合活動】

1. 当財団の組織	16
2. 代表理事及び業務執行理事の業務分担	17
3. 会議の開催	17
4. その他	19

【事業活動】

1. 2019年度の事業概況

I. [公益目的事業1] 科学技術館の運営事業

1. 入館者状況

入館者数は約47万3千人、対前年度比11.3%の減少。

2. 展示の新設

3階「くすりの部屋ーくすりウム」に新展示として「テーマ映像」「がんに挑むくすりの戦術」「剤形による体内ルートの違い」「患部でのくすりと病気の戦い」「ノーベル生理学・医学賞一本庶祐先生」の5点を追加設置し2月28日にオープンした。

3. 特別展・イベントの開催

(1) 社会貢献事業に関心の高い企業・団体の協力を得て開催

「日立サイエンスセミナー」「生物実験教室」「理研DAY」「夢化学-21」「日本IBM TryScience実験教室」「ワケエコ・カーモデラー教室」等。

(2) 共催イベント

「東京パズルデー2019in科学技術館」：11月2日、3日（日本パズル協会）

「ものづくり体験「たたら製鉄実験」：11月10日（日本鉄鋼連盟）

「ロボコンロボ作りワークショップ」：2月8日、9日、23日、24日、29日（NHKエンタープライズ）

「ロボコン体験ミュージアム シーズン3」：7月20日～8月6日（NHKエンタープライズ）

(3) 春の特別展

「国際周期年表展特別展」：2月29日～3月1日（日本化学会国際周期年表2019実行委員会）

4. 巡回展示物の貸出し

「ラ・ピレット展」「マグネット展」「スポーツを科学する」「科学捜査展」「究める！マグネット展」「科学捜査展 #SEASON2」等を全国10か所の科学館、諸施設に貸し出し、各館のイベントとして開催。

5. サイエンス友の会

科学技術館で実施する工作教室や実験教室、企業などの施設見学会等を計280回開催。

小学3年生以上の正会員と家族会員の延べ3,837人が参加。

6. 実験プログラム開発など

(1) 館外でのイベント向けに「ひらめけ！科学実験クイズ」「空気のパワーでふしぎ☆実験！」のプログラムを開発し、三井ファミリーデー（会場：汐留シティセンター）などで実施し、100名の参加があった。

(2) 沖縄県内の地域で科学コミュニケーションの裾野を広げるため、児童館などでのイベントの開催や指導員を対象にした講演会、指導方法の研修会などを開催した。

II. [公益目的事業2] 他館の運営管理事業

1. 所沢航空発祥記念館の運営（埼玉県委託事業）

(1) 特別展を開催

「フランス航空教育団来日100周年パネル展」「アンリ・ファルマン機公開記念特別展ー所沢飛行場 空を拓くものがたりー」

(2) 大型映像館の運営

航空分野を中心に広く来場者の興味を惹く上映コンテンツを選択し14作品を上映した。

「愛をのせた熱気球 大空を彩るときフランス・ローレヌ地方」「はじめての星の王子さま」「ロビンソン・クルーソー」「室屋義秀BEYOND THE EDGE 所沢航空発祥記念館ORIGINAL版」「えんとつ町のプペル」「スカイズ」「ダイナソーDX ～パタゴニア・巨大恐竜の謎」等

(3) 大型映像館上映作品に関連するイベントを開催

「星の王子さまとサン＝テグジュペリ展」「ココリコ・田中直樹の恐竜&アニマルトークショー」「室屋義秀トークショー」等

(4) その他行事等

即位礼正殿の儀慶祝事業としての無料開館 来館者数2,506人(10月22日)

埼玉県民の日無料開館 来館者数6,513人(11月14日)

2. 青森県立三沢航空科学館（青森県委託事業）

特別展「PIECE OF PEASE レゴブロックで作った世界遺産展 PART-3」：7月14日～9月23日開催

III. [公益目的事業3] 他館に対する活動支援事業

1. プレアデス導入館に関する保守メンテナンス事業

日立シビックセンター「天球劇場」等の保守点検業務を行った。

2. 教育文化施設の展示に関わる企画開発業務

日立シビックセンター科学館における再整備基本計画の策定及び展示の実施設計に対する監修を行った。

【収益事業1】、【収益事業2】は、公益目的事業実施の基盤となる重要な事業である。

IV. [公益目的事業4] 科学技術系人材の育成事業

1. 青少年のための科学の祭典2019
 - (1) 全国大会：7月27、28日に科学技術館で開催。入場者数14,598人、出展数70。
 - (2) 地方大会：北海道から沖縄まで78会場で開催。
2. 国際科学オリンピック
 - (1) 日本生物学オリンピック2019：参加者4,340人の中から代表候補者16人を選抜し、さらに日本代表4人を決定した。
 - (2) 第30回国際生物学オリンピック(ハンガリー大会)：日本代表4人は銀2、銅2を獲得。世界72ヶ国が参加。
3. その他
 - (1) 教員のための理科実験指導育成講座
参加延べ147人((公財)東京応化科学技術振興財団助成事業)
 - (2) 少女少女創造性育成事業
小中学生を対象としたワークショップを広島県で開催。((公財)市村清新技術財団委託事業)
 - (3) ボーイングSTEMイベントの開催
シアトル航空博物館サイエンスショー、ワークショップを科学技術館等5会場で開催。
(ボーイング社助成事業)

V. [公益目的事業5] 科学技術の普及啓発事業

1. 第60回科学技術映像祭(応募は24機関から42作品が出品)
 - (1) 内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞3作品、部門優秀賞6作品、特別奨励賞1作品、新技術振興渡辺記念会理事長賞1作品、科学技術館館長賞1作品の表彰式、発表会を科学技術館で開催(4月18日、19日)。
 - (2) 入選作品は、全国の15科学館で上映会を開催。
2. 放射線・エネルギー等に関する理解増進活動
 - (1) 中学校理科新学習指導要領による「放射線」教育を実施する教師を支援するために放射線教育支援Webサイト「らでい」を運用し、教員研修や放射線出前授業を実施した。
 - (2) 放射線に関する教職員セミナー及び出前授業を全国の小・中・高等学校等で162回開催し、約9,500人が受講した。(文部科学省委託事業)
 - (3) 「青少年のための科学の祭典」全国大会及び地方大会にエネルギー・放射線実験ブースを出展した。
 - (4) 放射線教材コンテストを実施し、応募総数86作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、特別賞4作品、入選4作品を選定し表彰した。

VI. [公益目的事業6] 科学技術振興に関する調査研究事業

VII. [公益目的事業7] 科学技術の研究開発とその促進事業

1. 科学技術館ならではの手法の確立を目指し、(一財)新技術振興渡辺記念会科学技術調査研究事業により映像技術を使った教育プログラムと展示を開催しその効果を測った。
2. 広報活動については、「JSF Today」(季刊)および科学技術館メールマガジン(配信数11,118人)の発行、twitterによる情報発信(フォロワー数3,254人)(3月30日現在)を実施した。

VIII. [収益事業1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業

1. 情報システムの設計開発
 - (1) データベース技術やネットワーク技術を応用した情報システムの設計開発
(学)産業能率大学、(株)イセトール、(一社)日本経営協会、(株)片平新日本技研
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(株)電力テクノシステムズ
2. 情報システムの運用サービス事業
 - (1) 通信教育Web受講申込システムの運用業務：(学)産業能率大学
 - (2) LMS(Learning Management System)の運用業務：中外製薬(株)、オムロン(株)
 - (3) 統計システムのデータ登録・運用業務：(一社)電子情報技術産業協会
 - (4) 成績報告サービス：通信教育団体
 - (5) 金融系Webシステム運用業務：(株)イセトール
 - (6) 精度管理システム運用業務：(一財)日本環境衛生センター

IX. [収益事業2] 科学技術館施設の利用促進事業

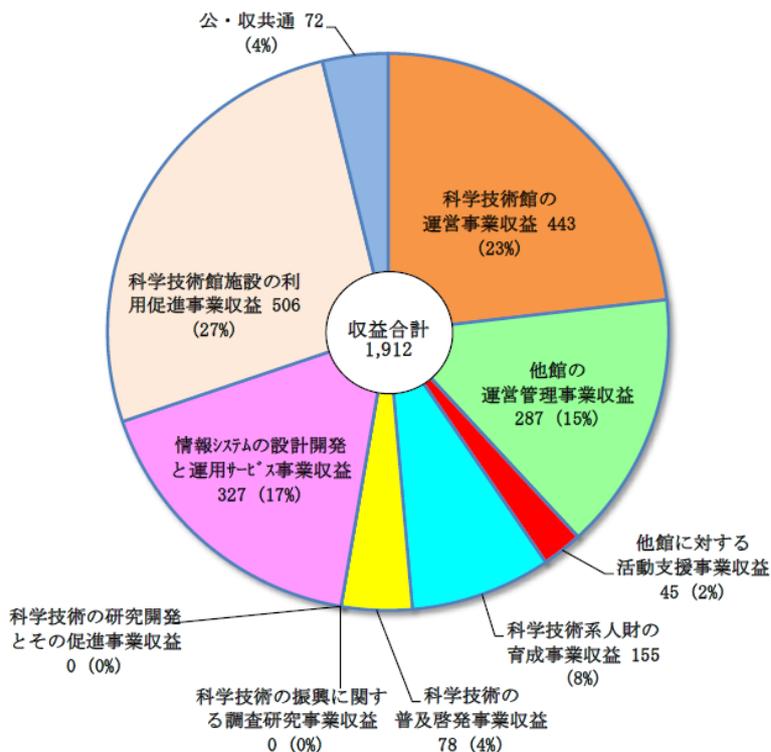
1階の展示・イベントホールを、各種販売会、技術展、製品発表会、イベントに、地階のサイエンスホールを、各種イベント、講演会、セミナー、研修会に貸出す事業を行っている。
また、会議室の貸出し事業も行っている。

2. グラフで見る 2019 年度の事業

(1) 収益

2019年度収益 (単位: 百万円)

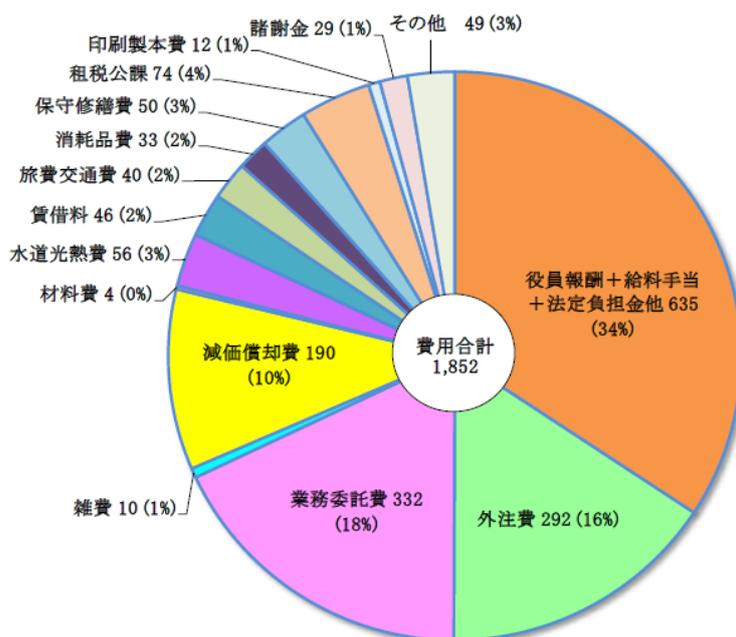
区分	科目	決算	予算
公1	科学技術館の運営事業収益	443	474
公2	他館の運営管理事業収益	287	255
公3	他館に対する活動支援事業収益	45	102
公4	科学技術系人財の育成事業収益	155	157
公5	科学技術の普及啓発事業収益	78	101
公6	科学技術の振興に関する調査研究事業収益	0	0
公7	科学技術の研究開発とその促進事業収益	0	0
収1	情報システムの設計開発と運用サービス事業収益	327	360
収2	科学技術館施設の利用促進事業収益	506	480
	公・収共通	72	74
	合計	1,912	2,005



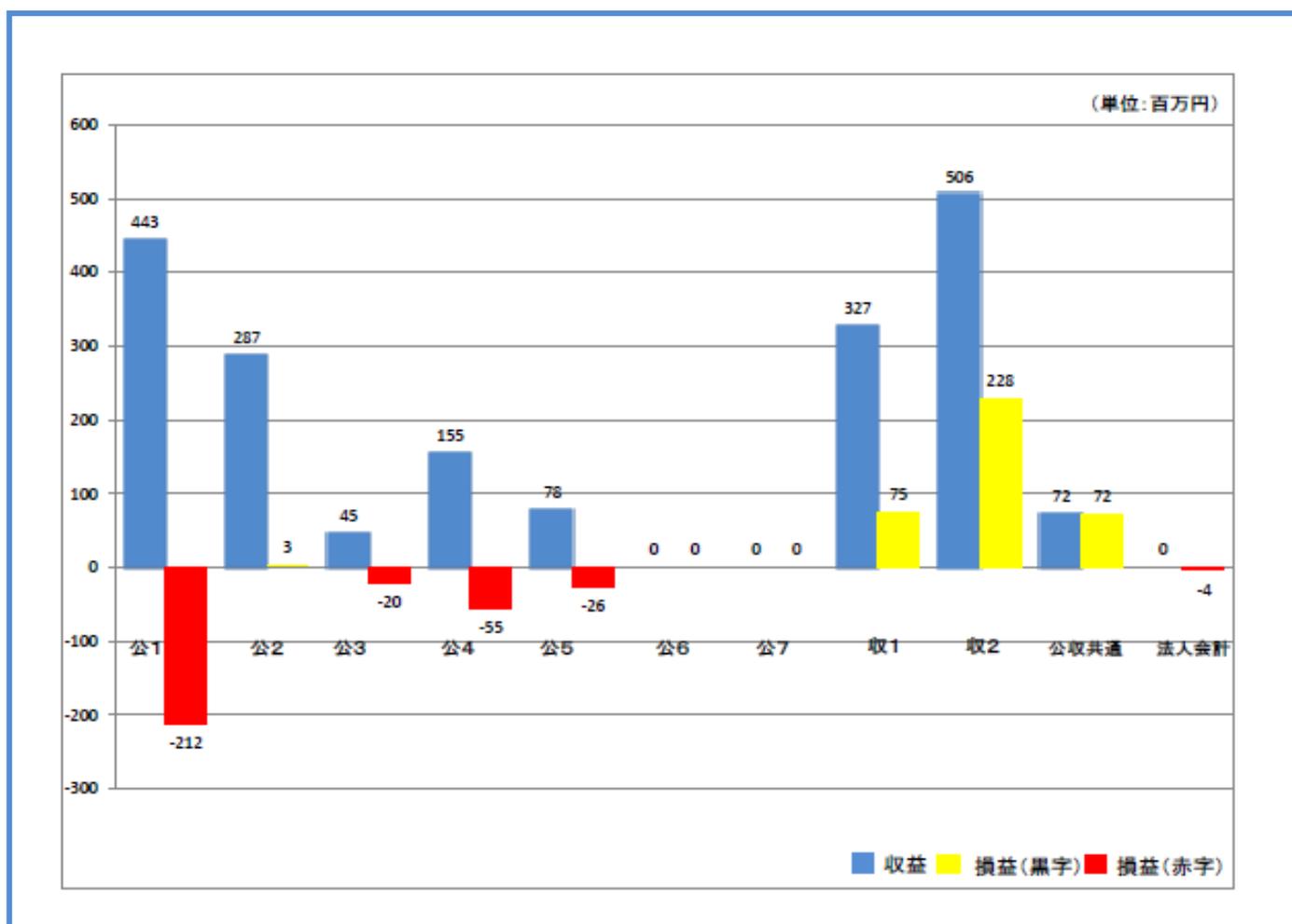
(2) 費用(事業費+管理費)

2019年度費用(事業費+管理費) (単位: 百万円)

科目	決算	予算
① 役員報酬+給料手当+法定負担金他	635	637
② 外注費	292	318
③ 業務委託費	332	312
④ 雑費	10	14
⑤ 減価償却費	190	181
⑥ 材料費	4	32
⑦ 水道光熱費	56	70
⑧ 賃借料	46	48
⑨ 旅費交通費	40	66
⑩ 消耗品費	33	33
⑪ 保守修繕費	50	103
⑫ 租税公課	74	82
⑬ 印刷製本費	12	21
⑭ 諸謝金	29	30
⑮ その他	49	58
合計	1,852	2,005



(3) 事業区分別の収益と損益



3. 事業の状況

I. [公益目的事業1] 科学技術館の運営事業

次代を担う青少年を中心に、実際に「見て」「触れて」「試す」ことで楽しみながら理解できる体験型展示と多くの実験ショー・ワークショップを開催し、常設展示・特別展とともに、好奇心・探究心・創造性を育みつつ科学技術・産業技術の振興と理解増進に繋がる情報・知識の普及啓発活動を展開した。また、開館以来の事業である1年制の会員組織「サイエンス友の会」による工作教室・実験教室等をはじめ、ステークホルダーと連携した各種教室等を開催した。

1. 科学技術館の運営

(1) 入館者状況

当年度の入館者数は約47万3千人となり、対前年度比-11.3%と減少した。新型コロナウイルス感染症の影響が大きな原因である。特に3月2日から3月31日まで臨時休館としたため、3月の入館者数が345人ととどまった。また、3月に予定していたイベントもすべて中止となった。

<入館者状況比較>

	2019年度(人)	2018年度(人)	2019/2018(%)
4月	35,917	30,981	+15.9%
5月	30,399	31,984	-5.0%
6月	34,944	32,459	+7.7%
7月	36,111	33,005	+9.4%
8月	54,116	58,241	-7.1%
9月	27,052	28,253	-4.2%
10月	32,867	34,999	-6.1%
11月	54,210	62,282	-13.0%
12月	56,701	56,249	+0.8%
1月	59,022	57,246	+3.1%
2月	51,197	64,299	-20.4%
3月	345	43,364	-99.2%
合計	472,881	533,362	-11.3%

(2) 展示解説および実験演示

約 20 の常設展示室およびコーナーにおいて、スタッフによる展示解説を行うとともに、毎日約 40 回の実験演示プログラムを実施した。

(3) 展示室および展示の保守・管理

来館者が安全・快適に見学でき、当館見学の目的をより良く達成することができるよう、常に展示および設備の保守・点検・修理・改善等の整備を実施し、展示空間の環境向上に努めた。

(4) 特別展・イベントの開催

①社会貢献事業に関心の高い企業や団体と連携して教室やイベント等を開催

- 1)セメント協会：「セメントで手形をつくろう」
- 2)一般財団法人石炭エネルギーセンター：「夏休み石炭教室」
- 3)中外製薬株式会社：「生物実験教室」
- 4)日本アイ・ビー・エム株式会社：「日本 IBM TryScience 実験教室」
- 5)日本カーモデラー協会及び一般社団法人日本自動車工業会：「ワクエコ・カーモデラー教室」
- 6)日本鉱業協会：「Metal Factory 夏休みプログラム」
- 7)株式会社日立製作所：「日立サイエンスセミナー」
- 8)プラスチック循環利用協会：「プラスチックはスゴイ！」「プラスチックの化学、と実験」
- 9)メルク株式会社：「ライフサイエンスってなんだろう？実験してみよう！」
- 10)「夢・化学-21」委員会：「なぜなに？かがく実験教室」
- 11)国立研究開発法人理化学研究所：「理研DAY」
- 12)電気学会：「フジクラの技術と活動見学会」
- 13)大妻女子大学：「まっぷ-SIR (さぁ) 探検！」他

②共催イベントの開催

- 1) 日本パズル協会：「東京パズルデー2019 in 科学技術館」 11月2日、3日
- 2) 日本鉄鋼連盟：ものづくり体験「たたら製鉄実験」 11月10日
- 3) NHKエンタープライズ：
「第1回小学生ロボコン ロボ作りワークショップ」 2月8日、9日、23日、24日、29日

③夏特別展の開催

- 1) 「ロボコン体験ミュージアム シーズン3」 7月20日から8月6日
共催：NHKエンタープライズ
- 2) 「映像で魅せる科学技術 ～サイエンス・ビジュアライゼーションの世界～」8月10日から9月1日
(公益財団法人 JKA 補助事業)

④春特別展の開催

- 1) 「国際周期表年展特別展」2月29日から3月1日（臨時休館のため2日間のみ開催）
協力：日本化学会国際周期表年2019実行委員会
下記は臨時休館のため開催せず。
- 2) 「光の世界～体験してわかる！光の不思議～」延期しての開催を検討中
- 3) 「クジラってどんな生き物？～クジラや魚は大切な水産資源～」中止
共催：公益社団法人日本水産資源保護協会

(5) 展示室の整備

- ①4階G棟にAGC株式会社出展展示「AGC MEETS Dr. STONE」を設置した（12月）
- ②2階G棟に宝くじ助成事業としてドライビングシミュレーターを設置した（2月）
- ③「くすりの部屋ークスリウム」に新展示として「テーマ映像」「がんに挑むくすりの戦術」「剤形による体内ルートの違い」「患部でのくすりと病気の戦い」「ノーベル生理学・医学賞ー本庶佑先生」の5点を追加設置した。（2月）

(6) サイエンス友の会の活動

電子工作や木工工作教室、化学や生物をテーマとする実験教室、パソコンの使い方を学ぶパソコン教室、北の丸公園など屋外での自然観察教室、企業の協力による施設見学会、STEAM 教育を導入した教室や、中学生以上を対象とした研究者等による専門教育など、各種プログラムを1年間にわたって計280回開催し、正会員（4月会員は小学4年生以上、10月会員は小学3年生）と家族会員（正会員の家族）の延べ3,837人が参加した。

(7) 巡回展示物の貸出し

「ラ・ビレット展」、「マグネット展」、「スポーツを科学する」、「科学捜査展」、「究める！マグネット展」、「科学捜査展 #SEASON2」を全国10か所の科学館を始めとする諸施設に貸し出し、各館のイベントとして開催した。

(8) 実験・工作プログラム開発

館外でのイベント向けプログラムとして「ひらめけ！科学実験クイズ」「空気のパワーでふしぎ☆実験！」を、館オリジナルとして開発し、三井ファミリーデー（会場：汐留シティセンター）な

どで実施した。これらのイベントには延べ約 100 名の参加があった。

(9) 子供科学技術人材育成事業

沖縄県内の地域で科学コミュニケーションの裾野を広げるため、児童館や学童施設でのイベント開催や、指導員を対象にした講演会・指導方法の研修会を開催。その際に実験・工作プログラム「風船ロケット」「ホバークラフト」「サッカク・ビー玉エレベーター」「UV ビーズストラップ」の指導者用シナリオを開発して使用した。また、「Non! ミックスボトル」「イシイロ絵の具」を新規開発した。

(10) その他

①多言語化

- 1) 英語版科学技術館ホームページを作成し、7月から公開した。
- 2) 館内サインの4か国語化、展示解説、ワークショップシナリオの英語科を順次実施した。

②光回線・Wi-Fi スポットの敷設

館内光回線・Wi-Fi スポットの敷設工事を実施し、6月から来館者の利用を開始した。

③インターンシップの受入

8月に産業能率大学の学生を受け入れ、館内イベント運営等に当たった。

II. [公益目的事業2] 他館の運営管理事業

科学技術館の運営経験を基に、科学館、博物館等の教育文化施設の運営を行うことにより、科学知識の普及啓発に貢献した。

1. 所沢航空発祥記念館の運営 (埼玉県委託事業)

常設展示館及び大型映像館の運営、特別展・公開講座・工作教室等の開催などを通して、航空関係の知識の普及啓発、並びに航空分野への興味関心の喚起につながる活動を行った。

(1) 展示館の運営

安全を最優先とする運営の基本原則のもと、入館者への案内・対応、展示解説・実演、サポートやサービスにより入館者満足度を高めるとともに、25年以上を経過している常設展示物に対して展示クオリティの維持・向上または最低限の低下に留めるための適切な保守・修繕・管理を実施した。

また、日本で最初の動力飛行を記録し、所沢飛行場との由縁を持つ「アンリ・ファルマン機」の自衛隊からの貸付による移設展示を実現したことにあわせ、常設展示のレイアウトを一部再構成することにより、地域の歴史に基づく博物館として求められる役割・機能・魅力の拡充を図った。

(2) 大型映像館の運営

所沢航空発祥記念館の特長のひとつである大型映像館においては、航空分野を中心として広く来場者の興味を得られる上映コンテンツを選抜し、年間を通じて多彩かつ多様な作品を上映した。

①第1期(4、5、6月)上映

「愛をのせた熱気球 大空を彩るときフランス・ロレーヌ地方」	: 4月 1日から6月 30日
「はじめての星の王子さま」	: 4月 1日から4月 26日
「かいけつゾロリ ZZ (ダブルゼット) のひみつ」	: 4月 27日から6月 30日
「名探偵コナン 探偵たちの星月夜 (スターリーナイト)」	: 4月 27日から5月 6日

②第2期(7、8、9月)上映

「ロビンソン・クルーソー」	: 7月 2日から9月 29日
「新・恐竜大進撃」	: 7月 2日から9月 29日

③第3期(10、11、12月)上映

「室屋義秀 BEYOND THE EDGE 所沢航空発祥記念館 ORIGINAL 版」	: 10月 1日から12月 28日
「えんとつ町のプペル」	: 10月 1日から12月 28日

④第4期(1、2、3月)上映

「スカイズ」	: 2020年1月2日から3月1日
「奇跡の地球の不思議な森 てんとう虫ドロシーの課外授業」	: 2020年1月2日から3月1日

⑤2020年新春特別上映

「ダイナソーDX ～パタゴニア・巨大恐竜の謎」	: 2020年1月2日、3日
-------------------------	----------------

⑥第60回科学技術映像祭入選作品上映

「からだの中の宇宙 一超高精細映像が解き明かす」	: 8月10・11・12日
「テレビアニメ『はたらく細胞』」	: 8月13・14・15日
「NNNドキュメント'18 ハイスクールは水族館!!」	: 8月16・17・18日

(3) 特別展・イベントの開催

館設立趣旨に則り、常設展示を補完する適時性のあるテーマに基いた特別展・イベントを開催することで、来館動機を増大するとともに広報の機会として活用し、館の周知・認知の向上を図った。

①特別展

- 1) 「フランス航空教育団来日100周年パネル展」 : 4月 6日から2020年3月1日
- 2) アンリ・ファルマン機公開記念特別展 : 8月10日から2020年3月1日
「所澤飛行場 空を拓くものがたり」

②大型映像館作品連動イベントの開催

- 1) 「星の王子さまと サン=テグジュペリ展」 : 3月 1日から4月 26日
- 2) 「ココリコ・田中直樹の
恐竜&アニマルトークショー」 : 9月 22日

- 3) 「ボールプール」 : 8月10・11日
- 4) 「室屋義秀トークショー」 : 12月15日

③YS-11一般公開

(6回/年、延べ参加者数 7,114人) : 4月 6・7日、5月19日、
10月26・27日、11月14日

④格納庫一般公開

: 4月 6・7日

(2回/年、延べ参加者数 4,007人)

② 「青少年のための科学の祭典」所沢大会 : 11月4日

(延べ参加者数 840人)

(4) 連携活動

① フランス航空教育団来日100周年記念事業

1919年のフランス航空教育団来日から100周年にあたることから、東京大学と所沢市それぞれに、相互連携して記念事業を計画実施する2つの実行委員会が設置され、当館は委員として両実行委員会に参画した。記念事業の主たるひとつが、所沢飛行場に由縁の「アンリ・ファルマン機」を航空自衛隊から借受け、所沢航空発祥記念館に移設・展示することであり、財団はこの計画実現のため有識者・専門家による「アンリ・ファルマン機移設・展示に係る技術検討委員会」を設けて事務局を担い、同機の状態調査・移設・展示の方法等について取りまとめた。

② 自治体・団体等との連携

埼玉県、及び所沢市をはじめとする周辺の自治体・団体・企業等との連携活動として、所沢市が主催し所沢航空記念公園を利用する「市民文化フェア」、「所沢市民フェスティバル」等に対して連携協力を行なった。また、埼玉県指定管理者としてコンソーシアムを組む埼玉県公園緑地協会が主催する空の日イベントの開催に連携協力した。

③ 博物館連携組織及び博物館等との連携

埼玉県博物館連絡協議会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会、日本ジャイアントスクリーン協会等に加え、連携活動や研修への参加・開催協力、ならびに加盟各館と情報交換を行うことで、相互に博物館活動の質的向上を図った。

(5) 広報活動

所沢航空発祥記念館をより多くの方に知っていただくことで入館者増に結び付けるとともに、衆目を集めることにより活動の活性化や拡充を図るため、パブリシティ中心の広報を実施した。

特に所沢と由縁のアンリ・ファルマン機の74年ぶりの里帰り展示公開を記念した特別展については、地元自治体とも連携しプレスリリースほか積極的な広報を行った。

また、昨今モバイル端末からのアクセスの割合が非常に多いことへの対応力を高めるとともにセキュリティ面も向上させるためホームページの全面リニューアルを実施した。

(6) 普及啓発活動

① 飛行機工作教室、公開講座の開催

航空関連知識や情報の普及啓発・理解増進を目的として、飛行機工作教室、公開トークイベント等を開催した。

1) 飛行機工作教室 (室内機・ゴム動力機・折り紙等) : 4月から2020年2月
27回/年、延べ参加者数 925人 (1から3回/月程度開催)

2) フランス航空教育団来日100周年記念 公開トークイベント : 4月7日

「松本零士×鈴木真二 スペシャルトーク」参加者数: 136人

②友の会「キッズ・チャレンジ倶楽部」の開催

「科学する心」を育て「創る喜び」を体験してもらうことを目的とした、小学3年から6年生対象の一年制会員制組織「キッズ・チャレンジ倶楽部」を運営し、航空に係る科学と技術を軸として広く自然科学をテーマに、工作教室・実験教室・自然観察教室・航空関連施設見学会等の各種行事を開催した。

開催教室数：24回／年、 延べ参加者数：731人

(7) ボランティア活動の充実

館の運営を支援するボランティアの活動の場として、飛行機工作教室、常設展示の特別解説や展示ガイドツアーの開催、YS-11・格納庫の特別公開、展示航空機の保守・メンテナンス、近隣小学校等へのアウトリーチ活動等を実施した。

(8) 入館者状況その他

①2019年度の入館者数、前年度との比較

	入館者数	うち大型映像館
2019年度	175,883人	36,515人
2018年度	194,567人	35,752人
前年度比	90.4%	102.1%

※ 3月2日から31日まで
新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館

②その他行事等

- 1) 即位礼正殿の儀慶祝事業としての無料開館 来館者数：2,506人 (10月22日)
- 2) 埼玉県民の日無料開館 来館者数：6,513人 (11月14日)

2. 青森県立三沢航空科学館の運営 (青森県委託事業)

(1) 展示物の点検・補修・改善

展示物の異常や故障などを未然に防ぎ、正常な稼動と安全運転を確保するため、展示物の保守点検を年4回実施した。

(2) イベントの開催等

夏の特別展として「PIECE OF PEASE レゴブロックで作った世界遺産展 PART-3」を7月14日から9月23日まで三沢航空科学館で開催した。

III. [公益目的事業3] 他館に対する活動支援事業

科学技術館の運営経験を基に、科学館、博物館等の教育文化施設に対して、それら施設の新規設置や更新、あるいは新たな「活動づくり」にあたってのコンセプト作りなどの支援を総合的に行った。

1. プレアデス導入館に関する保守メンテナンス事業

以下の施設における保守メンテナンス事業を完了した。

- (1) 日立シビックセンター「天球劇場」保守点検業務（公益財団法人日立文化情報財団委託事業）
- (2) プラネタリウムシステムソフトウェア保守業務（川崎市委託事業）
- (3) 岡三証券神楽洞夢保守点検業務（株式会社岡三証券グループ委託事業）
- (4) サイエンスヒルズこまつ3Dスタジオ保守点検業務（小松市委託事業）

2. 教育文化施設の展示に関わる企画開発業務

日立シビックセンター科学館における再整備基本計画の策定及び展示の実施設計に対する監修を行った。

- (1) 日立シビックセンター科学館再整備基本計画策定業務（日立市委託事業）
- (2) 日立シビックセンター科学館整備実施設計展示監修（株式会社丹青社委託事業）

IV. [公益目的事業4] 科学技術系人材の育成事業

科学技術体験イベント、国際科学オリンピックなど、科学技術への興味関心を引き起こすレベルから専門家をめざすレベルまで、広範な活動を通して科学技術系人材の育成事業を実施した。

1. 科学技術体験イベントの開催

(1) 青少年のための科学の祭典 2019

青少年のための科学の祭典は、当財団の提唱により 1992 年に開始され、草の根的な理科実験のイベントとして 27 年の歴史を数え、全国各地で展開されている。当年度は、中外製薬株式会社などの支援を得て、科学技術館における全国大会をはじめ、全国 78 会場で自主大会が開催された。参加者数は 298,561 人に及ぶ。

① 青少年のための科学の祭典 全国大会（科学技術館）

会期 7 月 27 日、28 日、入場者数 14,598 人、出展数 70 (個人 33、企業団体 28、学生科学賞 5、放射線教育事業 4)。

② 青少年のための科学の祭典 地方大会

自主大会として北海道から沖縄まで、78 会場で開催された。

(2) 少年少女創造性育成事業（公益財団法人市村清新技术財団委託事業）

第50回市村アイデア賞受賞者を対象とした表彰式、入選作品の展示を11月22日に科学技術館で行い、小中学生を対象とした、複写機を題材としてその原理と分解を行うワークショップを12月21日、22日に合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島県広島市）で開催した。

(3) ボーイングSTEMイベントの開催（ボーイング社助成事業）

シアトル航空博物館の協力を得てSTEM(Science, Technology, Engineering and Mathematics)教育に基づいた科学実験ショー・ワークショップ「ボーイングSTEMプログラム in ジャパン」を開催した。

- 11月12日 : 東陽小学校 (千葉)
- 11月14日 : 聖徳大学附属小学校 (千葉)
- 11月16日 : 科学技術館 (東京)
- 11月19日 : 科学技術館<対象:東京シューレ> (東京)
- 11月21日 : 三和小学校 (愛知)
- 11月23日 : 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 (岐阜)

2. 科学オリンピック国内大会・国際大会 (国立研究開発法人科学技術振興機構支援事業)

(1) 日本生物学オリンピック 2019 の開催、第 30 回国際生物学オリンピックへの日本代表派遣

①日本生物学オリンピック 2019 の開催

4月1日～5月31日	参加申込受付 (郵送と Web)
7月14日	予選を全国約 114 会場で開催 (参加者 4,340 名)
8月16日～18日	本選を長崎国際大学で開催 (予選上位者 79 名)
12月25日～27日	代表候補者冬期特別セミナー開催 (代表候補者 16 名)

※代表選抜試験は 2020 年 3 月 20 日に科学技術館で実施。

②第 30 回国際生物学オリンピック (ハンガリー大会) への日本代表派遣

ハンガリー大会へ日本代表として派遣された4名は、銀メダル2、銅メダル2を獲得した。

4月3日	ハンガリー大会の日本代表4名と次点者2名を決定し、プレスリリースを実施した。
4月27日～29日	第2回特別教育をお茶の水女子大学で実施した。(2泊3日)
6月15日、16日	第3回特別教育を科学技術館で実施した。(1泊2日)
7月14日～21日	ハンガリー大会開催 (銀2、銅2、15位/72カ国・地域)

(2) 第 31 回国際生物学オリンピック開催準備

①2020年7月に日本の長崎国際大学で開催を予定している第31回国際生物学オリンピックについて、運営委託業者の選定を行い、7月に基本契約を締結した。

②8月31日に長崎国際大学において第31回国際生物学オリンピックキックオフシンポジウムを開催した。

3. 教員のための理科実験指導育成講座開催(公益財団法人東京応化科学技術振興財団助成事業)

学校における教員の理科実験スキル向上を目的として、ベテラン教師による実践的な理科実験の極意を指導し、授業や社会教育活動に役立つ講習会を科学技術館「実験工房」で物理・化学・生物・地学の分野別に各2回開催した。(参加者:延べ147人)

なお、2020年度についても助成を受けることが決定している。

V. [公益目的事業5] 科学技術の普及啓発事業

科学技術映像祭、放射線・エネルギー等に関する理解増進活動等、広範囲な科学技術の普及啓発事業を実施した。

1. 科学技術映像祭

(1) 第60回科学技術映像祭

- ①「自然・暮らし部門」「研究技術開発部門」「教育・教養部門」の3部門に、24機関から42作品が出品され、内閣総理大臣賞に「からだの中の宇宙—超高精細映像が解き明かす—」（企画：ミクロコスモス製作委員会 製作：株式会社ヨネ・プロダクション）、文部科学大臣賞3作品、部門優秀賞6作品、特別奨励賞1作品、新技術振興渡辺記念会理事長賞1作品、科学技術館館長賞1作品を決定し、3月12日にプレスリリースを実施した。
- ②入選作品発表会（4月18日、19日）、表彰式・受賞作品トークセッション（4月19日）を科学技術館において開催した。また、全国の科学館（15館）で入選作品の上映会を行った。

(2) 第61回科学技術映像祭

12月2日から2020年1月24日に参加作品の募集を行い、内閣総理大臣賞をはじめとする入選作品13作品（ダブル受賞を含む）を決定した。

2. 放射線・エネルギー等に関する理解増進活動

(1) 情報提供事業、出前授業の実施

中学校理科新学習指導要領による「放射線」教育を実施する教師を支援するために各種情報を提供する放射線教育支援Webサイト「らでい」を運用するとともに、教員研修や放射線出前授業等を実施した。

(2) 文部科学省委託事業の実施

文部科学省の委託事業として、放射線に関する教職員セミナー及び出前授業実施事業を全国の小学校・中学校・高等学校等で162回開催し、約9,500人が受講した。

(3) エネルギー放射線教室の開催

「青少年のための科学の祭典」全国大会及び地方大会にエネルギー・放射線実験ブースを出展した。

(4) 放射線教材コンテストの実施

大学生等を対象とした放射線教材コンテストを実施し、応募総数86作品の中から最優秀賞1作品、優秀賞1作品、特別賞4作品、入選4作品を選定し、表彰した。

VI. [公益目的事業6] 科学技術振興に関する調査研究事業

Ⅶ. [公益目的事業 7] 科学技術の研究開発とその促進事業

科学の祭典の来場者調査を行った。広報活動としては、広報誌「JSF Today」、科学技術館メールマガジン、Twitter 等による情報発信を行った。

1. 調査研究

(1) 「青少年のための科学の祭典・全国大会」来場者、出展者アンケート調査の実施

7月27日から28日まで「青少年のための科学の祭典」全国大会にて来場者調査を行った。

回答者数：子ども537人、大人375人

2. 広報活動

科学館、博物館等の来館者調査、教育プログラムの試作・試行など、事業評価の実施及び事業の企画立案等に向けて調査研究を行った。広報活動としては、広報誌「JSF Today」、科学技術館メールマガジン等を発行した。

(1) プレスリリース

7月「青少年のための科学の祭典」2019全国大会開催。

7月 科学技術館2019年夏休み特別展「映像技術で魅せる科学技術
～サイエンスビジュアライゼーションの世界～」開催。

10月「ボーイングSTEMプログラム in ジャパン ～シアトル航空博物館がやってくる～」開催。

12月「第61回科学技術映像祭」参加作品の募集開始。

2月 新展示「ドライビングシミュレーター・コネクテッド体験」オープン。

3月「第61回科学技術映像祭」入選作品の決定について。

(2) 財団広報誌「JSF Today」の発行

No.152「もっと知りたい！海のこと」（4月発行）

No.153「海をわたった、飛行への情熱」（7月発行）

No.154「サイエンスビジュアライゼーションの世界」（10月発行）

No.155「団体見学、ご案内します」（1月発行）

発行部数 各1,000部

(3) 「科学技術館 メールマガジン」の発行

723号(4月3日)から772号(3月25日) 配信数11,118通(3月25日現在)

(4) twitterによる情報発信

フォロワー数3,254人(3月30日現在)

Ⅷ. [収益事業 1] 情報システムの設計開発と運用サービス事業

データベース技術、ネットワーク技術、解析・シミュレーション技術、インターネット技術などを基に、官公庁及び関連機関をはじめとして、民間企業や通信教育団体等から、情報システムの設計開発業

務や運用サービス業務を受託して実施した。この事業は、当財団の収益事業として財政基盤を支えることをめざしている。実施した主な業務は次のとおりである。

1. 情報システムの設計開発

(1) 学校法人産業能率大学

標準システム開発、案件・公開システム開発、学生向け Web サイト開発、受講管理システム開発

(2) 株式会社イセト

DCPS ツール申込システム企業型開発、三井住友海上あいおい生命 家族 Eye 開発、J-PEC ツール申込個人型 SK 改修

(3) 一般社団法人 日本経営協会

通信教育支援システム開発

(4) 株式会社片平新日本技研

片平 PASS システム開発

(5) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

資産管理システム

(6) 株式会社 電力テクノシステムズ

システム開発

2. 情報システムの運用サービス

(1) 学校法人産業能率大学

通信教育 Web 受講申込システムの運用

受講管理システム運用

標準システム運用

(2) 中外製薬株式会社、オムロン株式会社

LMS (Learning Management System) の運用業務

(3) 一般社団法人電子情報技術産業協会

統計システムのデータ登録・運用業務

(4) 通信教育団体

成績報告支援サービス

(5) 株式会社イセト

金融系 Web システム運用業務

(6) 一般財団法人日本環境衛生センター

精度管理システム運用

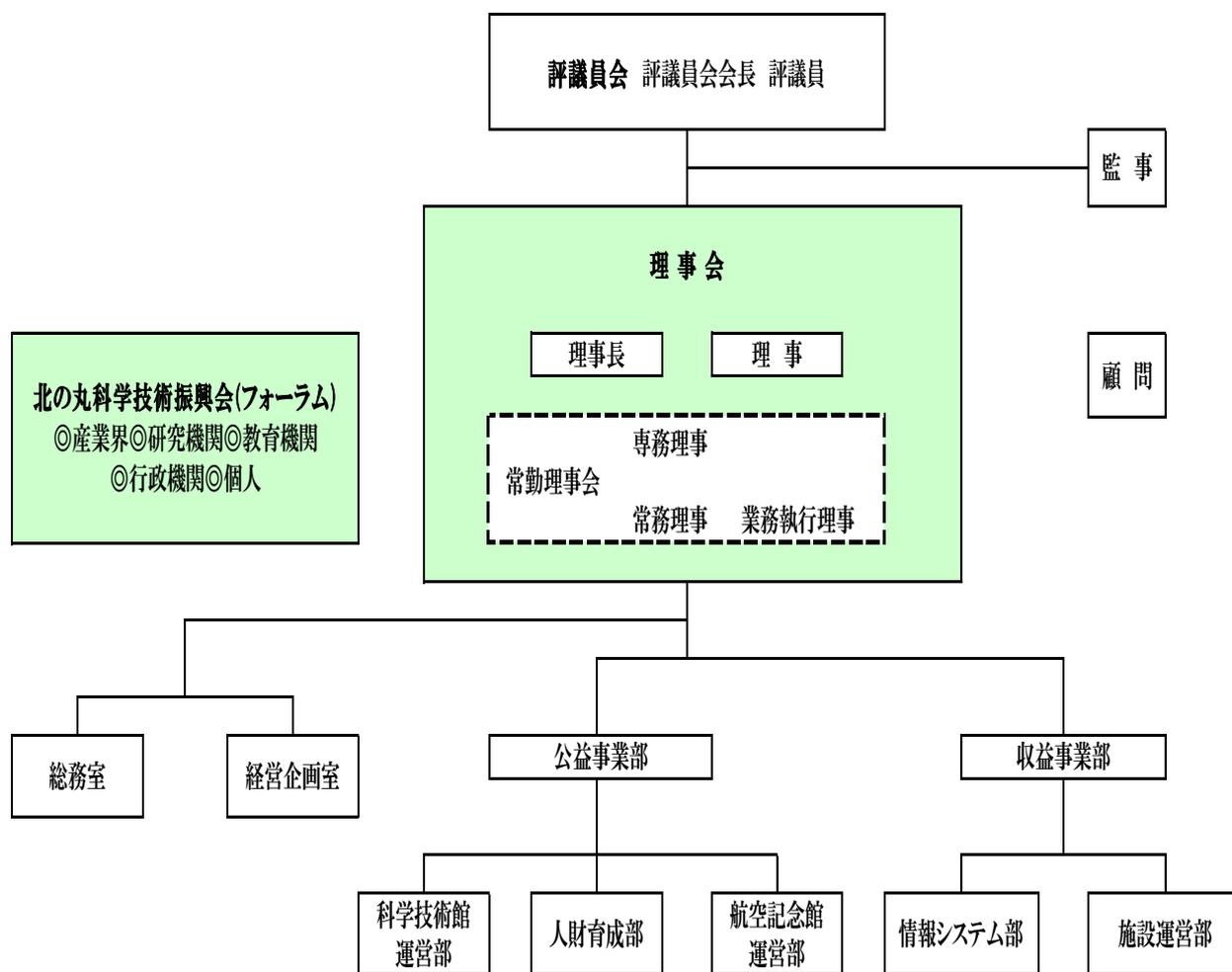
IX. 【収益事業2】 科学技術館施設の利用促進事業

当財団では、科学技術館の施設の一部を貸し出している。1階の展示・イベントホールは、各種の販売会、技術展、製品発表会、イベント等、地階のサイエンスホールは、土日はアニメ等の各種イベント、平日は講演会、セミナー、研修会等に貸し出している。また、5階、6階の会議室も貸し出している。この事業は、収益事業として経営しており、公益目的事業の継続実施の要となる重要な事業である。

今年度は、昨年度に引き続き各施設を利用していただく顧客ニーズを把握し、満足度を向上させる取り組みを行うことにより、継続的需要、更には新規需要に結び付けるように活動した。

【総合活動】

1. 当財団の組織 (2020年3月31日現在)



2. 代表理事及び業務執行理事の業務分担 (2020年3月31日現在)

氏名	業務執行理事	役職	業務分担
榊原 定征	代表理事	理事長	法人代表
吉田 忍	代表理事	専務理事	財団経営全般 航空記念館運営部担当(兼)、 所沢航空発祥記念館館長
新元 一弘	業務執行理事	常務理事	財団経営全般(専務理事補佐) 情報システム部担当(兼) 建設工事の請負に係る業務担当(兼)
若林 光次	業務執行理事	理事	人財育成部担当(兼) 人財育成部部长(兼)
榊水 久恒	業務執行理事	理事	経営企画室担当(兼) 総務室担当(兼) 総務室室長(兼) 施設運営部担当(兼)
湯浅 孝	業務執行理事	理事	科学技術館運営部担当(兼) 科学技術館運営部部长(兼)

3. 会議の開催

(1) 定時評議員会及び臨時評議員会の開催

①第9回定時評議員会 2019年6月26日

- 議案1. 2018年度の決算書類の承認の件
- 議案2. 評議員選任の件
- 議案3. 理事選任の件
- 議案4. 幹事専任の件
- 議案5. 幹事に対する報酬支払承認の件

②第10回臨時評議員会 2019年6月26日

- 議案1. 評議員会会長選任の件

○上記の評議員会に付議された議案は、いずれも承認可決されました。

(2) 通常理事会、臨時理事会及び書面理事会の開催

①第17回通常理事会 2019年6月7日

- 議案1. 2018年度の事業報告及び決算書類の承認の件
- 議案2. 定時評議員会及び臨時評議員会の招集について

- 議案 3. 理事会提案として評議員会に提案する評議員候補者の決定の件
- 議案 4. 理事会提案として評議員会に提案する理事候補者の決定の件
- 議案 5. 理事会提案として評議員会に提案する幹事候補者の決定の件
- 議案 6. 2019 年度補助・助成事業実施に関する件

②第 9 回臨時理事会 2019 年 6 月 26 日

- 議案 1. 代表理事選定の件
- 議案 2. 理事長及び専務理事各 1 名選定の件
- 議案 3. 理事長職務代行順位の決定について
- 議案 4. 業務執行理事の選定の件
- 議案 5. 常務理事の選定の件
- 議案 6. 業務執行理事の業務分担決定の件
- 議案 7. 重要な使用人の選任について
- 議案 8. 理事の報酬額の決定の件
- 議案 9. 顧問選任の件

③第 14 回書面理事会 2019 年 12 月 24 日

- 議案 1. 重要な使用人の選任について

④第 15 回書面理事会 2020 年 2 月 20 日

- 議案 1. 定時評議員会の招集について

⑤第 16 回書面理事会 2020 年 3 月 13 日

- 議案 1. 2020 年度事業計画及び予算書等の承認の件
- 議案 2. 理事会提案として評議員会に提案する理事候補者の件
- 議案 3. 重要な使用人の選任の決定の件
- 議案 4. 重要な組織の変更の決定の件
- 議案 5. 特定建設業許可の返上に伴う業務執行理事の業務分担一部変更の件
- 議案 6. 特定費用準備資金等の保有に係る承認の件

○上記の理事会(書面理事会を含む)に付議された議案は、いずれも承認可決されました。

⑥第 2 回書面評議員会 2020 年 3 月 23 日

- 議案 1. 理事選任の件

(3) 顧問会議の開催

開催なし

(4) 常勤理事会の開催

定款第 41 条第 2 項及び常勤理事会運営規則に基づいて、毎月 2 回(原則)、常勤の理事 5 名による常勤理事会を開催して、理事会決定による事業計画に従い、重要事項の審議、決定を行い、また各事業の報告により情報の共有を図っている。会議の資料及び結果については、電子メールにより、理事及び監事の全員に送付している。

4. その他

- (1) 経営課題の推進
- (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けての対応
- (3) 事業予算および要員予算編成方針の策定
- (4) 経費精算システムの導入と経理システムとの連携化
- (5) 勤怠管理システムの導入
- (6) 20kV から 6kV の変更と受電設備の更新
- (7) 公益区分の見直し検討の開始
- (8) 第2期耐震化工事の検討

－ 以 上 －